

福島教区報

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 98ヶ所
布教所数 87ヶ所
(R185.5月現在)



教区制度制定120周年 福島教区青年会記念総会開催

4月30日、福島教務支庁において、中山大亮・青年会長様のご臨席をいただき、「教区制度制定120周年・福島教区青年会記念総会」が開催された。コロナ禍のため、一般の参拝者は各教会代表1名に限られたが、青年会員27名を含め、113名が参集した。

前日の雨が、山浴いでは未明には雪に変わるほど冷え込んだが、祭典がつとめられる頃には、暖かい陽光の差す心地よい気候となった。

午前10時30分、雅楽の音が響く中、祭儀式がつとめられ、牛坂直之・青年会委員長が力強く祭文を奏上した。続いて、祭典役割に沿って座りづとめ、十二下りのてをどりがつとめられ、青年会員・女子青年が一手一つに勇んでおつとめ

をつとめた。

平澤勇一・教区長のあいさつに続いて、中山大亮・青年会長様が演台に立ち、「誠真実は伝わっちゃう」と題して、若い人たちにも分かりやすくお話をされ、「日々の生活の中で誠を積み重ねて、いいにをいを作っていく努力」をし、「いいにをいを周りに伝えちゃう人を目指して、これからもお互いに信仰の道を楽しませてもらう」と呼びかけられた。

その後、牛坂委員長が「誓いの言葉」を述べ、生江ゆう大委員長が「あらきとうりよう指針」を読み上げ、最後に全員で「青年会歌」を静聴した。

中山大亮・青年会長様「あいさつ

「誠実さは伝わっちゃう」

この身体はかりものであり、心だけが自分のものだと思えられます。その心の正しい遣い方として教えられているのが、誠実です。それには二つのポイントがあると私は思っています。

一つは、人の良いよう、喜ぶように、たすかるように、心を働かせているということ。もう一つは、手と口と心が一致しているということ。

修養科や学修、こどもおぢばがえりひのきしんの期間中は、人のために動くことを学んだり、実践したりする期間であり、また、だんだん仲良くなっていくので、本音が出てきて、手と口と心が一致していく。だから、その人のいいところが見えてくるのだと思います。

教区内のある教会長さんの話です。その方は、震災以降、自分にできることはないかというところから、今まで約80日以上、自教会から南相馬

まで、130キロの距離を、車でほぼ毎日、支援に行っていたそうです。そして仮設住宅300世帯の家族構成を1個1個調査して、その一つ一つに見合った物資を届けておられた。天理教ということとは全く出さず、現地の人との信頼関係がだんだんできてきて、「あそこの仮設住宅は、社協の人よりもその先生の方が詳しいですよ。」と言われるぐらい続けられていた。結果として、その中から修養科に行ってくれる方が2人できたということでした。

そのお話を聞かせていただいて、まさに人の良いよう、喜ぶよう、たすかるよう心を毎日働かせて、そして足を運んで、手と口と心が一致している、まさに誠実の姿だなと感じました。

さらにその先生がおっしゃっていた言葉の中で特に心に残ったのが、「ひのきしん、おたすけ、にをいかけ

は、セットで別々のものではない」という言葉です。

にをいかけと聞くと、どうしても戸別訪問や路傍講演、神名流しなどにをいかけるというイメージがありますが、本当は、そのにをいというのは、おたすけやひのきしんに動き続けていく中でじみ出てくるものだと気づきました。だからこそこのにをいというのは、絶妙な表現だと思います。

今、青年会の有志達で、「SNSたすけ」というものをやっています。主にTwitterで死にたいとか、逃げたいとか言っておられる方にアプローチをして、メールや電話で話を聞いたり、直接会ったり、緊急性がある場合は教会で受け入れたりしています。

そんな中で私が一番最初に直接お会いしたのは、35歳の男性で、14歳まで親に虐待を受けて育つなど、壮絶な過去を持っている方でした。その方と出会ってもう2年近く経ちま



すが、月1回は通うようにしています。数ヶ月前、その日は特に元気がなく、こちらがどれだけ話しかけても全然返答がなく、軽く頷くぐらいでした。30分ぐらい経って、だんだん腹が立ってきたんです。「あんたのため、これだけやってるのに、何でも変わらないんだ。」と。それでその日は切り上げて、帰りの車でいろいろ考えていました。「おたすけって何なんだろう。」「何のために自分はこんなことをしてるんだろう。」「こんなことを続けても彼に何の変化もないんじゃないか。」

それからしばらくして、ホームレス支援を、すごく熱心にされている方とお会いする機会があつて、この悩みを相談しました。すると、その人が、「その人生きてるんでしょ。生きてるんだつたらそれでいいじゃん。今、その人が生きられてるのはあなたが毎月、そうやって足を運んでるおかげじゃないの。」と言うんです。確かにそうだな。死にたいと言つた人が今、生きたまま居てくれる。それだけでいいんだなと思えることができたんです。

なぜ僕が、彼に腹をたててしまったのか、それは見返りを求めていたからです。何かしらの形でお道に繋がってほしいとか、別席を運んでほしいとか。だから、変わらない彼に対して腹を立ててしまったのです。

その時に、おたすけには、人間の領分と神様の領分があると思つたんです。人間の領分は、その人のことを思って誠実を尽くし、いいにいいをかけていくこと。それ以降、そ

の人が信仰するかどうかとか、教会繋がってくれるかどうかとか、それは全部、神様の領分。だからそこは神様に任せておいたらいいと感じることができました。

では、いいにいいは、どうやって作るのでしょうか。私は、「小さな誠実を積み重ねていくこと」だと思います。

先日、家族で外食しました。ごくサブビスが良く、美味しいお店でした。食事が終わり、店を出る時に妻が店員さんとずっと話をしてるんです。「何をそんなにずっと話しているのかな」と思い、車に乗ってから尋ねると、「今年の私の目標は、美味しいと思つたら美味しいって言う。いいと思つたらいいって言うことやねん。」と言うんです。

私たちは毎日、悪いことと同じくらい、いいことも感じていると思えます。でもそれを口にするのは、ちよつと勇気が必要だったり、恥ずかしさがあったりして、すぐに行動

一人ひとり検温しての受付



若い人達で参拝場が一杯に



牛坂委員長の祭文奏上



一手一つにおつとめ



や言葉にできないところがあるのではないでしょうか。だからこそ、それを目標にしてる妻は、素晴らしいなと思いました。

そしてよく考えたら、これはまさに、小さな誠真実の行いだと思っただけです。まさに人の良いよう、喜ぶように、心を働かせ、さらに、思ったことと言っていることややっていると一致しているということなので、瞬間的に誠を積んでいっていることに

なると思っただけです。僕もやろうと思つて、今意識してるところです。ということ、今日皆さんにお伝えしたいのは、「誠真実を伝わっちゃう」ということです。誠真実の行いが自分の中でいいにいいを作り、その後は伝えようと思わなくても、自然と伝わっちゃうものだと思います。伝えようとするのは大事ですが、自分にいいにいいがないと伝えるものも伝わりません。とにかく

日々の生活の中で誠を積み重ねて、いいにいいを作っていく努力、それが、信仰生活じゃないか。そして昨日より今日、今日よりも明日、自分が成長していく。そのプロセスに、信仰の値打ち、意味があると感じます。

私自身もその道中ですが、お互いに誠の人を目指して、これからもお互いに信仰の道を楽しませてもらいましょう。

福島教区青年会総会 祭典役割 令和4年4月30日(土) 午前10時執行

八足係		鞆鼓	鉦鼓	太鼓	箏		龍笛		笙		賛者		指図方	扨者		祭主	祭典役割			
相澤雄流	熊田明	國分一志	二瓶一幸	渡部真也			加藤伊織			梅井真司		平澤健太	生江ゆう大	齋藤峻徳	平澤信行	佐久間雄大		齊藤元康	牛坂直之	
岩栄原	城本浜	OB	OB	寄会			北岩原			OB		田村	新河沼	安達	磐城平	東越	猪苗代	松川		
生江竜	渡辺福太郎	胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	チャンポン	笛	地方		てをどり							
新河沼	福島	牛坂いさみ	小野道恵	孔理恵	加藤伊織	齋藤峻徳	渡部真也	羽田憲司	平澤健太	生江ゆう大	安井委員	山本副委員長	古関真奈美	宗像都	梅井はるみ	平澤信行	牛坂直之	青年会長様		
國分善之	橋本忠治	松川	石城	磐湖	北岩原	安達	寄会	平市	田村	新河沼			川俣町	三春	大名港	磐城平	松川			
古港	行理山	平澤真衣	千葉沙知恵	荒井麻子	生江竜	飯田陸	渡部史照	二瓶太智	齋藤峻徳	二瓶善治	渡部真也	加藤伊織	生江美沙樹	橋本知恵	齊藤美樹	橋本忠治	熊田明	齊藤元康		
祭事部		田村	飯盛山	安達	新河沼	新河沼	寄会	飯盛山	安達	飯盛山	寄会	北岩原	新河沼	行理山	猪苗代	行理山	城本浜	猪苗代		
生江ゆう大	加藤伊織	大江ゆかり	古川美織	二瓶旬花	平澤弘朗	橋本忠治	國分善之	渡辺福太郎	渡部紘基	相澤雄流	平澤健太	生江ゆう大	間宮裕理	熊田むつゑ	佐久間似菜	古川善信	羽田憲司	佐久間雄大		
新河沼	北岩原	福山一	會津平	磐梯山	磐城平	行理山	古港	福島	寄会	岩栄原	田村	新河沼	會津若松	城本浜	東越	會津平	平市	東越		
																		座りづとめ	前半下り	後半下り

提唱90年 全教「奇ひのきしんデー」

4月29日、「提唱90年 立教185年全教一斉ひのきしんデー」が実施された。今年「ひのきしんデー」が提唱されて90年ということ、全ようばくに声を掛け、開

催を周知して当日を迎えた。ほとんどの支部が、一昨年はコロナ禍で、昨年は雨天で、一堂に会しての開催が出来なかったため、3年ぶりに支部会場に集まって

の開催となった。

その中、中山大亮・青年会長様が、会津（杉澤元和支部長）、耶麻（近藤直光支部長）、福島（椿秀教支部長）の3支部の様子を視察して回られ、参加者と共に除草や窓拭きに汗を流すなどした。

(Z・F)



会津支部



耶麻支部



福島支部



郡山支部



いわき支部

◎福島教区管内ひのきしん会場◎

福島	福島教務支庁	34名
安達	県立霞ヶ城公園	31名
郡山	猪苗代湖舟津浜湖水浴場	43名
田村	三春町歴史民俗資料館	22名
耶麻	猪苗代駅	51名
会津	会津若松市少年の家	69名
	白鳳山墓地公園	6名
	びわのかげ運動公園	2名
いわき	いわき市松ヶ岡公園	69名
相双	JR新地駅	24名

(布教部提出分)



青年会

「東北ブロック大会 in 山形」に11名参加

5月28日～29日、山形県舟形町の若あゆ温泉で「東北ブロック大会 in 山形」が開催され、福島教区青年会(牛坂直之委員長)から11名参加した。コロナ禍のため、この2年は中止やオンライン開催となっていたため、一堂に会しての開催は

3年ぶりとなった。

初日、会場に集まった参加者は、それぞれに「コロナ対策チェックシート」を受付に提出し、開会式・オリエンテーションに臨んだ。

その後、6つのグループに分かれ、「自分にとってのお道を考える」をテーマにグループトークを行った。今後、信仰者としてどのように通らせていただければよいか、またそれに関する悩みなどをお互いに話し合った。

温泉に入って汗を流した後は、バーベキューを囲みながら、お互いに懇親を深めた。

参加者からは、「昨年はオンラインで参加したが、やはり対面でのグループトークの方が、より深く話ができると感じた。バーベキューも最初はグループトークの班でやったので、互いによくお話しできたと思う。」といった感想が聞かれた。

(N・U)

「立教185年教区祭」開催

4月2日、福島教務支庁で「立教185年教区祭」が執行された。コロナウイルス感染拡大防止のため、役職者のみの参加となった。

平澤勇一・教区長の祭文奏上に続き、座りづとめ、十二下りのてをどりが勇んでつとめられた。

その後、7期目を迎えた平澤教区長が、今後3年間の教区活動への思いを話された後、主事、各支部長、地方委員への辞令交付を行い、新しい役職者を紹介した。



最後に牛坂直之・青年会委員長が4月30日に開催する教区総会への思いを話し、お力添えをお願いして閉会となった。(Z)

育成部

「女性がかがやく集い」開催

福島教区育成部（生江一行部長）では、4月3日、福島教務支庁で「女性がかがやく集い」を開催し、スタッフが参加した。

まず初めに、伊藤信広先生（新五泉分教会長・新潟県里親会副会長）が、「かがやく人になるためのヒント」と題して話をされた。先生は「かがや



いている人」とは「誰かのために頑張っている人、誰かを輝かせている人」ではないかと、自教会の信者子弟の例を挙げながら定義した。そして、身近なところから人を輝かせる方法の一つとして、「言葉遣い」「優しい声かけ」があるとした。日常生活の中でポジティブな言葉は思っている以上に少ないとして、写真を見ながら褒める練習をしたり、参加者同士が褒め合うなどの練習をした。里親の啓発ビデオを観た後、先生が里子を預かりながら体感した言葉の大切さを話し、是非、言葉で人を輝かせてくださいと締めくくった。

午後からは、大江ゆかり氏が参加者に手や頭のマッサージをするかわら、ケーキなどを食べながら、お互い歓談するなどし、心も身体も輝く日を過ごしていただいた。最後に、牛坂直之・教区青年会委員長が、4月30日の教区青年会総会への参加をお願いして解散となった。(K・N)

布教部

「輪読勉強会」開催

福島教区布教部（生江一行部長）では、5月2日の教区例会前に、福島教務支庁で「輪読勉強会」

を開催し、教区役職者等が参加した。布教部では今年、各支部で支部例会等の時間を活用して、『三代真柱様のお言葉 教会内容の充実』を会長が輪読し、教祖140年祭に向かって意識を高めることを目指している。教区では、まず役職者に体験してもらおうと、今回開催した。（K・N）



青年会

感謝の思いを込めて「ひのきしん」

福島教区青年会（牛坂直之委員長）では、4月30日に青年会長様ご臨席の「教区青年会総会」を

大勢の青年会員参集のもと、無事開催し、御礼の思いを込めて、各所での「きしん」を行った。5月5日には、磐城平大教会で「除草ひのきしん」を行い、9名の青年会員が参加した。



5月10日には、旧鹿島町分教会で、「神殿建物修復ひのきしん」を行い4名の青年会員が参加した。同教会は東日本大震災後、ひのきしん者の宿泊に使われていたが、3月の地震で半壊となった。これまでに宿泊された方々が復旧作業を志願され、それに合わせる形で、教区青年会もコンパネ張りなどの修復作業を行った。今後の継続する予定。（N・U）



基礎講座

「基礎講座」(田村支部会場)を37名受講

5月29日、三春町の八文字屋を会場に、今年度1回目の「天理教基礎講座(福島会場)」(古閑清人事務局長)が開催され、37名(内、初受講者10名、未信者4名)が受講した。田村支部での開催は、昨年5月に予定されていたが、コロナ禍のために中止となり、今回が初めてとなった。また、今回受講された方の



中には、福島教区のホームページを見て参加したという方もあった。

講座では、本部講師・入江和徳先生(本理世大教会長)がビデオとお話で、天理教の教えを分かりやすく紹介された。とりわけ、入江氏が自ら病を得た経験をもとに「人たすけて我が身たすかる」の教えについて語り、「喜びを他の人に伝えて陽気ぐらしをしましょう」と陽気ぐらしに近づく生き方を示した。

受講者からは、「改めてお道の素晴らしさを聞くことができて良かったです。」「入江先生の体験やその時の考え方等、今後に活かしたいと思えます。」といった感想が聞かれた。

またスタッフからは、「田村支部の皆様のお陰で、コロナ前のように、たくさんの方々に足を運んでいたかったです。今後もコロナ対策を講じて、多くの方に受講いただけるよう、開催していきたい。」との声があった。

(K・K)

教区総出ひのきしん

5月19日、教区総出ひのきしんが教務支庁で開催され、40名が参加した。植木剪定や除草、屋内の清掃と勇んでひのきしんに励んだ。



布教部

「よろづよ八首奉唱」

6月2日、教祖140年祭に向かう活動の一つとして、教務支庁前で教区役員者が「よろづよ八首」を奉唱した。毎月2日の月次祭後に行うこととした。



婦人会

3年ぶりに「福島教区婦人会総会」を開催

福島教区婦人を見合わせてき（平澤栄美主任）では、6月3日、福島教務支庁で「福島教区婦人会総会」を開催し、36名が参加した。コロナ禍のため、2年間、開催



を限り、マスク着用や手指消毒の徹底などの感染対策をし、プログラムも工夫して、3年ぶりの開催となった。

まず、参加者全員で、座りづとめ、十二下りのてをどりを総立ちでつとめた。式典では、婦人会本部祝辞を平澤主任が代読。

平澤勇一教区長が祝辞を、杉澤寛代・会津支部主任が誓いの言葉述べた。



立教185年 全教一齊にをいがけデー

ようぼく実動日 9月28日(水)、29日(木)、30(金)

～身近な人へ 御教えを伝えよう～

今年で提唱されて90年を迎えます。教祖140年祭の年祭活動に向かう時旬にあって、
にをいがけのできる人材を育てましょう。

新型コロナウイルスの感染状況により、大勢が集まったの活動が難しい地域は、
各ようぼくが”身近な人へのにをいがけ”に取り組みましょう。

「第30回 女子青年大会」開催

立教185年(令和4年)11月27日(日)

【式典】午前10時～ 本部中庭

【テーマ】教えを学び 教祖にお喜びいただける日々を

～感謝の心をおちばにつなごう～

少年ひのきしん隊本部練成会

【日時】7月28日(木)～8月1日(月)

28日17:00 福島教務支庁集合

29日8:30 おちばへ(山名詰所泊)

30日8:00 入隊(38母屋泊)

31日13:00 解隊、福島へ

1日朝 福島教務支庁着、解散

【参加費】10,000円(支部助成含む)

【内容】ひのきしん、本部朝づとめなど

少年会「夏休みこどもひのきしん」

夏休みの間に、子供たちが楽しみながら
ひのきしんに励めるよう、後押しするこ
とを目的とした取り組みです。「ひのきし
んカード」を活用して、教会で、おちばで、
ご近所で、親子で、さあ、ひのきしん!

災救隊教区訓練

【日時】8月4日(木)～5日(金)

【会場】あだたら高原野営場

【内容】野営訓練、草刈り

学生会「高校生の集いまなびば」**少年会「わかぎ錬成会」**

【日時】8月18日(木)9時～15時

【会場】郡山カルチャーパーク

【費用】500円

【持ち物】筆記用具など

天理教基礎講座(福島会場)

【日時】9月4日(日)13時30分～

【会場】福島テルサ(福島市)

【講師】生江一行先生

【日時】11月13日(日)13時30分～

【会場】(郡山市)

【講師】杉澤元和先生

【日時】11月20日(日)13時30分～

【会場】アピオスペース(会津若松市)

【講師】平澤勇一先生

【受講御供】500円

福島教区ホームページ 「天理教福島教区」で検索![Http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp](http://tenri-fukushima.sakura.ne.jp)